

平成20年版厚生労働白書の目的

- 人口構造の変化や労働環境の変化を踏まえた対応策について、次世代育成支援と、暮らしの基盤を支える就労と所得確保という切り口から解説。
- 国民から見た社会保障の姿などを分かりやすく示し、これからの社会保障を構築する視点等を示す。

1 社会保障と国民生活

○ 社会保障の役割

[社会保障の基本的考え方]

- ・ 個人の責任や自助努力のみでは対応できないリスクに対して、相互に連帯して支え合うことによって安心した生活を保障し（共助）
- ・ 自助や共助で対応できない状況に対し、必要な生活保障を行うもの（公助）

[社会保障の機能]

- ①生活安定・向上機能、②所得再分配機能、③経済安定機能

○ 社会保障と地域生活

- ・ 社会保障制度は、実態として、地域間の所得再分配の効果を持ち、高齢者の多い地域の生活を支えている。

2 近年の社会経済の変化と家計の動向

○ 人口構造等の変化

- ・ 一層の少子高齢化の進行と本格的な人口減少社会になる見通し
(過去の実績推移と趨勢を将来に投影して推計すると、2055年の人口：9000万人弱、合計特殊出生率：1.26)
- ・ 人口構造の変化に伴う労働力人口の減少、経済社会の持続的発展への影響が懸念

○ 労働環境の変化

- ・ 正規従業員以外の雇用者の増加。これらの者は相対的に収入が低い。
 - －正規従業員以外の雇用者：1997年（1,152万人）→2007年（1,732万人）
- ・ フリーターの数には2007年は181万人で、2003年の217万人をピークとして4年連続で減少してきているが、25歳以上の年長フリーターについては改善に遅れ。
- ・ 若年層の雇用者所得については、格差拡大の動きが見られた。
 - －1992～2002年に、20歳代で所得が150万円未満の層と500万円以上の層の割合が上昇など
- ・ 労働時間の長短二極化の傾向が見られ、子育て世代の男性では週60時間以上の長時間労働の者が20%程度と高止まり。

○ 家計の動向

- ・ 勤労者世帯の家計収支は平均で見ると黒字だが、高齢無職世帯では一部金融資産の取り崩しで対応。働ける期間は働くことによって所得を確保し、引退後は年金を中心に貯蓄もいかしながら生活するという姿がうかがえる。
- ・ 近年の所得格差の拡大は、人口の高齢化が最も大きな要因。

3 暮らしの基盤を支える社会保障

○ 子ども・子育て期における支援

- ・ 仕事と生活の調和の実現に向けた取組みの推進
- ・ 次世代育成支援の新たな制度体系の構築
 - － 就業希望者を育児休業や短時間勤務等と保育でカバーできる体制・仕組みの構築
 - － 学齢期の放課後対策について全小中学校区での実施

○ 現役期における就労と所得確保

- ・ 若年層の雇用の安定・促進
 - － フリーター常用雇用化プランの推進
 - － ジョブ・カード制度の推進
- ・ パートタイム労働者の待遇改善
 - － 改正パートタイム労働法の着実な実施（2007年改正）
- ・ 派遣労働者の就業環境の整備
 - － 「緊急違法派遣一掃プラン」の実施（2008年）
 - － 労働者派遣制度の在り方の検討
- ・ 最低賃金制度の適切な運営
 - － 改正最低賃金法の適切な施行（2007年改正）
- ・ 仕事と生活の調和の実現に向けた取組みの推進

○ 高齢期における所得確保と就労

- ・ 持続可能で安心できる老後の所得保障の構築
 - － 2004年度の年金制度改正では、①上限を固定した上での保険料の引上げ、②マクロ経済スライドの導入、③基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ等の枠組みにより、長期的な給付と負担の均衡を図ったところ。
 - － 社会保障制度に関する信頼確保
- ・ 高齢者の雇用機会の確保
 - － 高齢者雇用確保措置の確実な実施
 - － 年齢にかかわらず働くことができる社会に向けた取組み

○ 社会的支援を必要とする人々の就労と所得確保

- ・ 障害者に対する支援
- ・ 母子家庭に対する支援
- ・ 生活保護受給者に対する支援

4 生涯を通じた自立と支え合いの構築

○ これからの社会保障

- ・ 社会保障制度改革の動向
 - －一連の制度改革（平成16年年金制度改革、平成17年介護保険制度改革、平成18年医療制度改革等）
 - －社会保障国民会議の設置（2008年）
- ・ これからの社会保障を構築する視点
 - ①社会経済との調和
 - ②世代間、世代内の公平性の確保
 - ③現役世代を対象とした施策の積極的展開
 - ④家族形態の変化に対応した制度等の構築
 - ⑤社会保障と他の公共政策との連携強化

○ 長寿社会の暮らし、働き方、人生設計

- ・ 充実した人生のための基礎づくり
- ・ 生き方・働き方の再設計
- ・ 地域社会における共助や交流